

## 「VSCOとの連携」

岡山県医師会理事・岡山県産婦人科医会理事 田淵 和久



2013年岡山県産婦人科医会は、岡山県警察本部との間で「県警察の行う性犯罪捜査活動及び性犯罪被害者等への支援活動」に関し協定を結びました。同年にはVSCOとの間で「性犯罪被害者に対する緊急支援のため、相互に協力する」との協定を締結しています。捜査の必要上、警察は独自に所轄署を通じて性犯罪被害者に対する診察に対応できる産婦人科医療機関を確保しており、主に証拠採取を目的に活動を行っております。一方、性犯罪被害者救済支援に関して、VSCOと産婦人科医会との間は必ずしも円滑な連携が図られているとは言えない状況が続いておりました。

2018年性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターが、全都道府県に設置されましたが、岡山県では従来からVSCOがワンストップ支援センターとして活動されておりました。しかし、全国的にワンストップ支援センター事業の活動は充分ではなく、国は支援センター活動の強化が必要と考え、2021年3月26日内閣府の検討会議において「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの強化」を決定し、10月1日よりワンストップ支援センターオンコール制度（24時間電話受付）を発足させました。

アメリカにおいては「Me Too」運動が高まり、それまで性被害にあっても我慢していた被害者が、大物映画プロデューサーを告発するなど、性被害に対して訴えるケースが増加してまいりました。しかし、わが国では、性被害にあわれても警察に連絡せず、約60%は誰にも相談しないという状況で、VSCOなど民間団体の機関に相談するケースも少ないのが実態です。出産まで一度も受診せず、突然分娩が開始して救急搬送され、ハイリスクな分娩をする例は皆無となっております。望まない妊娠をしないための知識が乏しく、貧困の中で出産し、貧困（教育を含めて）ゆえに起こる悲惨な事象の多さに、我々産婦人科医も対応に苦慮するケースも多く報告されています。証拠保全の目的では、被害にあわれてからなるべく短い時間で、産婦人科医療機関を受診する必要があります。

しかし、年々出産数が減少することに伴い、分娩取り扱い施設（夜間診療が可能な施設）が減少しており、特に夜間に性被害にあわれた方への診療は難しくなっております。そういう状況下、内閣府が2021年10月1日をもって「性犯罪被害者へ24時間対応すること」を決定したことを受けて、岡山県、岡山県医師会、岡山県産婦人科医会、VSCO、岡山県警察本部が協議を重ねることができました。不十分な面はありますが、順調にスタートを切れたのではないのでしょうか。

性暴力被害者支援に携わるNPO法人も多いと聞いております。それぞれの立場で活動されておられますが、目的は被害にあわれた方の身体的、精神的、経済的、法的、その他もろもろの支援であります。今後は、5団体において定期的に集まり情報を交換し、「性犯罪・性暴力被害者のための支援」がスムーズに行われるよう協議会を開催する予定です。VSCO・岡山県に中心を担っていただき、岡山県医師会・岡山県産婦人科医会も協力してまいりたいと思います。

## VSCOこの1年のあゆみ (事業報告) 2021年1月～2021年12月

事業名	実施内容
電話面接・直接支援など	最近多くなった性的被害の相談に対応するために、平成28年9月20日「性犯罪被害者等支援センターおかやま」を立ち上げ、性犯罪被害に特化した相談窓口と専用電話を設置しましたが、平成30年度から令和2年度までは、予算的措置ができず、通常の相談業務の中で対応しました。しかし、令和3年度は、県の助成を受けて、「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」として、再スタートしました。
支援員の養成と支援体制	基礎講座を5月から7月まで6回、中級講座は7月から9月まで6回開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、全ての講座を中止しました。 令和3年11月30日現在の支援体制は、犯罪被害相談員7名、犯罪被害者等給付金申請補助員4名、電話・面接相談員12名、犯罪被害者直接支援員12名、自助グループ支援員4名、事務局職員2名となっています。
研修	中国四国ブロック研修会の令和2年度の下半期(令和3年1月)及び令和3年度の上半期(令和3年9月)は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止になりました。 VSCO独自の継続研修として、事例に基づき、支援のあり方等について、月1回の研修を行っています。
広報・啓発	<p><b>(機関誌の発行)</b> 1月に機関誌「心いつでもそばに」第16号を4,000部発行し、会員等へ業務内容、活動状況等の報告を行うとともに、フォーラム等の参加者に配布し、VSCOのPRを行いました。 <b>「いのちと魂のメッセージ展」のパネル展</b> 研修会、フォーラム、官公庁のロビー等で開催し、被害者の声を発信しました。</p> <p><b>岡山市との共催事業・フォーラム開催</b>  <b>令和3年2月20日(土)</b> ピュアリティまきび(岡山市) 参加者64名            基調講演 「犯罪被害者等の実態と支援」            ～トラウマインフォームドな視点からみた他機関連携の必要性～            講師 武庫川女子大学准教授 大岡由佳氏            ミニコンサート 南米民族音楽            奏者 ワイラジャパン(グッドベン・ゴンサ氏)</p> <p><b>岡山県委託事業・研修会開催</b>            次のとおり計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月27日から9月12日まで、岡山県に「緊急事態宣言」が発令されたため、開催を中止した。  <b>令和3年9月4日(土)</b> ピュアリティまきび(岡山市)            基調講演 「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」            講師 少年犯罪被害者当事者の会 一井彩子氏            ミニコンサート クラリネット四重奏「アンサンブル SOFA」</p> <p><b>岡山県警委託事業・フォーラム開催</b>  <b>令和3年11月28日(日)</b> ピュアリティまきび(岡山市) 参加者150名            基調講演 「きょうだいが犯罪被害にあうということ」            講師 佐世保小6女児同級生殺害事件被害者の兄 御手洗氏            インタビュアー 武庫川女子大学准教授 大岡由佳氏            ミニコンサート 岡山県警音楽隊及び犯罪被害者支援大学生のグループ「あした彩(あしたいろ)」による歌と演奏</p> <p><b>情報の発信</b>            ①ホームページで、VSCOの毎日の情報を発信しています。            ②フォーラムの開催案内をしています。            ③ラッピングバス(1台)による「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」のPRをしています。</p>
募金活動	赤い羽根共同募金会の「テーマ募金」で「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクトを実施しました。この募金活動で、目標額を集めることができました。
自販機の設置	犯罪被害者支援自動販売機の設置を呼びかけ、12月31日現在73か所に設置しています(p.13参照)。
助成事業の実施	日本財団の預保納付金助成事業として、ボランティア相談員養成講座の開設や相談員に対する研修を実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年と同様に本年も実施できませんでした。



### 犯罪被害者支援に関する三者協定を締結

令和3年11月12日に県警本部で、岡山県警と県内約800の美容室でつくる県美容生活衛生同業組合とVSCOの3者により、性暴力やDVなどの犯罪被害者支援に関する協定を結びました。



## 2021年度総会の開催

2021年度定時社員総会が、6月19日、岡山市北区平和町の「後楽ホテル」で開催されました。2020年度事業報告を行い、同年度決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録が承認されました。また、1名の理事が選任されました。



総会開会

- 選任された理事 平松敏男
- 表彰状の贈呈 V S C O 支援員 奥田さち子
- 感謝状の贈呈

正会員歴 10 年の個人	5 名	家野昌子、新谷恭二、藤原恭子 三木亮治、森本治雄
賛助会員歴 10 年の団体	2 団体	三井住友海上火災保険(株)、みのるホテル事業(株)
賛助会員歴 10 年の個人	15 名	岩津安罔、片山和良、黒瀬治樹、神土純子、花田雅行、三浦一男 水川美代子、光畑俊行、山田成一、(匿名 6 名)
多額寄付の団体	3 団体	一般財団法人 厚生会、みのる産業(株)、(株)山陽メディアサプライズ
多額寄付の個人	1 名	(匿名希望)
事業推進協力者	1 団体	岡山商科大学

### ○ 2020 年度収支報告書 (概要)

(収入) 正会員及び賛助会員会費、地方公共団体補助金・負担金、地方公共団体委託費、民間助成金、寄付金、雑収益等 = 合計 18,101 千円

(支出) 相談事業費、直接支援事業費、相談員等養成研修事業費、広報啓発事業費、管理費等 = 合計 18,003 千円  
当期経常増減額は 98 千円の増額で、当期一般正味財産増減額は、経常外増減額 (会費徴収不能額) △ 482 千円を加えて 715 千円の減額となりました。

### ○ 2021 年度事業計画 (重点目標)

2021 年度は、次の諸点を重点目標として、特色ある活動を行う計画です。

- (1) 犯罪被害者支援のための活動を、常時多面的かつ総合的に展開する。
- (2) 関係機関との連携を深める。
- (3) 地域の総合力を生かした活動を展開し、また広報啓発に努める。
- (4) 財政基盤を確立強化する。

### ○ 基調講演

新型コロナウイルス感染予防のため行いませんでした。

※社員総会後の理事会において、業務執行理事として嶋村稔、片山文が選任されました。

### ○ 令和 3 年度の役員等

顧問	村田吉隆 (元国務大臣・犯罪被害者等施策担当)
	岡崎 彬 (岡山ガス会長)
	皆木英也 (公益社団法人岡山県暴力追放運動推進センター元専務理事)
	松田 久 (岡山商工会議所会頭・両備ホールディングス(株)副会長)
代表理事	平松敏男
業務執行理事	嶋村 稔、片山 文
理事	難波 光、若林久義、中島豊爾、加藤裕司 松村正基
監事	森本治雄
事務局長	藤原一徳

### 2020年度収支報告書(概要) (単位：千円)

会費 (正会員・賛助会員)	2,523	
地方公共団体補助金	1,763	
民間助成金	2,621	
地方公共団体委託費	8,007	
寄付金	3,187	
雑収益	0	
<b>経常収益合計</b>	<b>18,101</b>	
公益目的事業	相談事業	6,197
	直接的支援事業	1,056
	養成・研修事業	864
	広報啓発事業	3,938
	公益目的事業共通	1,193
法人会計	4,755	
<b>経常費用合計</b>	<b>18,003</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>98</b>	



## フォーラム（令和3年1月～12月）

### 「犯罪被害者等の実態と支援」

—トラウマインフォームドな視点からみた  
他機関連携の必要性—

●講師 おおおか ゆうか 大岡 由佳 氏 武庫川女子大学准教授

大阪犯罪被害者アドボカシー支援センター専門支援員  
性暴力被害者支援センター・ひょうご理事

岡山市と共催で「犯罪被害者支援を考える市民のつどい」

ピュアリティまきび 2/20

#### 犯罪被害者等の実態と支援

警察庁の2018年の調査によれば、犯罪の発生件数は減少していますが、警察への通報率は、殺人・傷害でも48.8%、児童虐待は5.5%、DVが9.8%、性的な被害では20.1%と低く、犯罪の認知件数と実際に起こった犯罪の数は異なります。また、いじめ、ハラスメント、ヘイトクライムなど犯罪と認知されていない犯罪もあります。認知されているよりも**多くの犯罪被害者やその家族**が存在します。

犯罪被害者は被害を受けてからの身体的、精神的な影響も大きく、被害後に日常生活が行えなかったと感じた平均日数は、児童虐待（45.6日）で最も多く、次いで殺人・傷害（28.2日）、性的な被害（24.8日）となっています。しかし、加害者からの賠償を受けた被害者は、わずか8.8%、警察などの公的機関を含め**どこからも支援を受けたことがない**という回答が78.5%という実態があります。

内閣府の2018年の調査によれば、性暴力被害を受けたことがあるのは、女性の20人に1人、そのうち13人に1人は、無理やりに性交等された経験があります。また、このような被害について、女性の約6割は、どこにも相談していません。犯罪被害者支援における支援相談窓口は、地方公共団体や民間団体などありますが、それらの窓口相談しない、支援を依頼しない人が多いのです。性犯罪被害者が支援を依頼できないのは、性に関するタブー感や人の傷つきに対する配慮のない社会が性暴力を語りにくくしていること、地方によっては支援機関へのアクセスが難しいこと、そして、性暴力の中で根拠となる法律が異なるため、行政の縦割りの弊害により被害者のたらい回しが生じていることが原因です。このたらい回しを防ぐために、**ワンストップ支援センターというシステム**に注目が集まっています。



講師 大岡 由佳 准教授

#### 他機関連携に必要なトラウマインフォームドケアの視点

**PTSD（心的外傷後ストレス障害）**が、よく知られていますが、トラウマはPTSDより広い、心的外傷いわゆる心のケガを表す言葉です。地震、津波、台風などの自然災害、虐待、犯罪、性暴力、交通事故や、重い病気や怪我、家族や友人の死、別離、いじめなど、個人で対処できないほどの圧倒されるような体験によってもたらされる心のケガをさします。そして、子ども時代に自分の対処能力を超えたトラウマの出来事を体験すると、アルコール依存や喫煙、仕事の欠勤などさまざまな問題行動や、糖尿病、肥満、脳卒中、がん、心臓病などの身体的問題・うつ、自殺企図などの精神的問題が出てくるリスクが高まるということが科学的に証明されています。

近年の脳科学研究では、トラウマとなる出来事が、脳自体を変容させてしまうこともわかっています。

トラウマとなる体験は、**人の行動・ころろ・からだを変えてしまいます**。安全感がなくなり、他人を信頼し、依存することができなくなる。自分自身を信じられなくなって、自分は汚れていて、救いようのない失敗作だと感じてしまう。他人との対等な関係を築けず、他人からコントロールされ従順になるか、他人をコントロールしようとするという行動になってしまいます。

そこで、トラウマについて理解し、配慮ある関わりをする**トラウマインフォームドケア（TIC）**（Trauma Informed Care）が重要となります。トラウマとは、心的外傷。インフォームドは、十分に知識を持っているということ。ケアは、支援ということです。**トラウマインフォームドケア（TIC）**の原則は、次の6つです。

- **安全**  
(身体的・感情的な安全・話をするときドアを閉めるなど)
- **信頼性と透明性**  
(誠実に対応する。これからの見通しを伝える。その人がいないところで、その人の話をしない)
- **ピアサポート**  
(自助グループのような当事者同士のサポート。  
同じ体験をした一歩先に行く人に一緒にいてもらえるのがいい)
- **協同と相互性**  
(上下関係のない関係が重要。こちらから一方的にではなく一緒に行動する)
- **エンパワメント、意思表示と選択**  
(もともともっている力を引き出す・お茶かお水かを選んでもらうなど自分の意見を表明してもらう)
- **文化、歴史・ジェンダーの問題**  
(文化的な背景を理解する・個人の価値観を尊重する)

他機関との連携でも、関係機関が手を取り合って**トラウマに配慮した一貫した対応**をしていく必要があります。

### 全ての人に必要なトラウマインフォームドケア (TIC) の視点

犯罪被害者をはじめとして、色々な支援をする人たちだけではなく、実は、全てのひとにとって、このトラウマインフォームドケアの視点は必要だと、大岡先生は、述べられました。それは、大概の人が、生きてい中で多かれ少なかれ心が傷つく体験をし、それを乗り越えた、もしくはそれを乗り越えようと生きているサバイバー（生き残った人）だからです。他人とコミュニケーションをとるとき、TICの視点を持つことで、他人に優しくなれます。そして、社会がこの視点を持つと、みんなが生きやすい社会が実現できるので。（支援員 I）



## TICの具体例

### TICでない対応



### TIC的な対応



※TICでは、**「安全感を高める」「対処行動を学ぶ」「ストレングスを高める」**

スマホからは  
こちら



出典：「視点を変えよう！困った人は、困っている人」  
以下からダウンロードできます。

[https://www.jst.go.jp/ristex/pp/information/uploads/ooka\\_trauma.pdf](https://www.jst.go.jp/ristex/pp/information/uploads/ooka_trauma.pdf)

## フォーラム（令和3年1月～12月）

### 「きょうだい犯罪被害にあうということ」

- 講師 **御手洗 氏** みたらい（佐世保小6女児同級生殺人事件被害者の兄）
- インタビュアー **大岡 由佳 准教授** おおおか ゆうか（武庫川女子大学）

講演はインタビューのかたちで行われました。

岡山県と岡山県警察本部と共催で  
「犯罪被害者支援フォーラム2021inおかやま」

ピュアリティまきび 11/28

#### 事件概要

2004年、長崎県佐世保で、小学6年生の御手洗さんの妹は、同級生に学校内でカッターにより傷つけられて死亡しました。加害者の女児は、家庭裁判所に送致され、その後、児童自立支援施設へ入所し、現在はすでに退所しています。

当時、兄の御手洗さんは**中学校2年生**、他県でひとり暮らしをしている大学生の6つ違いの兄もいました。御手洗さん一家は、事件の2年前にお母さんを病気で亡くしていました。



講演に耳を傾ける参加者

#### 事件当時のこと

事件当日、御手洗さんの通っていた中学校の全クラスが、突然自習となりました。そして、御手洗さん一人が担任に呼ばれました。生徒指導室の奥の狭い談話室に連れて行かれ、校長先生・担任・部活の顧問など7～8人の先生にとり囲われました。黙った先生達の中で、校長先生からA4の紙に「Yahoo! ニュース」を印刷したものを渡されました。御手洗さんの妹の殺人事件の速報でした。御手洗さんは、あまりのことにその意味が分かりませんでした。妹の通っていた小学校は1学年1クラス、御手洗さん自身、6年生全員の顔を知っていました。だから、「これ、誰がやったことですか?」という言葉を絞り出しました。

父親と合流したのは、それから5～6時間後、父親の様子は、今まで見たことのない、目の焦点も合わない、動揺しきった姿でした。御手洗さんは、『父親も失ってしまうかも知れない』と、不安になりました。そして、『父親に負担を掛けないようにしよう』『笑顔でいよう』と、心に決めました。

事件後は、自宅の隣の警察署にマスコミが来ていて、なかなか、外へ出られない、窓も開けられない状態でした。御手洗さんは、『学校に戻った方が、父親が安心するのでは』と、考え、とにかく学校に戻りました。自分の心の状態には目が向きませんでした。後で知ったことですが、御手洗さんが学校に復帰する時、友人達は、担任の先生に尋ねに行きました。「どんな風に接したらよいかわからない」と。担任は、「**何も変わる必要は無い**」と、答えたそうです。友人達は、その言葉通りに、普通にしゃべり、冗談を言い、御手洗さんにとって**学校が唯一楽な場所**でした。家には、父親の会社の同僚が2人、ずっと詰めて家事などをしていてくれました。父親は、ぼーっとしており、家には帰りづらいため、遅くまで学校で勉強をしていました。御手洗さんは、『父親の前では、絶対泣かない』と、決めていたので、泣くときは布団の中で、声を殺して泣きました。普通にご飯は食べましたが、夜は全く眠れませんでした。



## 高校時代のこと

父親の転勤のため、御手洗さんは友人と別れたくはありませんでしたが、高校入学と同時に引っ越しました。頑張って受験勉強をして高校に入学し、最初の1ヶ月は普通に通学できました。しかし、その後、全く教室に入れなくなりました。自分でもどうしてだかわかりません。保健室の先生に、自分が殺人事件の被害者遺族であることを打ち明けました。初めて、「**きつい**」と、**自分で言い**、保健室の先生から、「いつでも保健室を開けておくから、好きなだけいていいのよ」との申し出を受けました。父親の作ったお弁当を持って学校に行き、保健室に一日いるようになりましたが、その6月に自主退学をしました。

## 医療機関やカウンセラーとのかかわり

高校を自主退学した後、医療機関やカウンセラーと関わるようになりました。カウンセラー達は、「何でもいいので、どうぞお話してください」と言ってくれ、聴く姿勢でいてくれました。でも、御手洗さんは、事件の概要と今の状態だけを話すと、あとは何を話したらいいのか、どう話したらいいのかかわからず、あとが続きません。このインタビューのように、**区切って、少しずつ順序だてて聞いてもらえるとよかったです**のですが。あちこちの精神科医やカウンセラーを回りましたが、どこも長続きするところがありませんでした。

## 支えとなったもの

大人は、腫れ物に触るように御手洗さんを扱いましたが、中学時代の友達は、いつも通りでいてくれました。友達は、「**あたりまえの日常**」を提供してくれました。家の中で自分を保つために、家の中の空気を遮断するように音楽を流し続けました。

## 民間支援団体にどのような支援をもとめるかについて

御手洗さんは、身体を動かすなど、何かのイベントで家からつれ出して欲しかったそうです。学生ボランティアと交流など、**リフレッシュする時間**があれば、少しは違ったかもしれません。そして、子どもに直接声を掛けて欲しかったと言います。親を通してではなく、イベントの参加などは**子どもの意思を聞いて**欲しかったそうです。

## 伝えたいこと

御手洗さんにとっては、事件を学校で伝えられたことで、**学校がトラウマの場所**になってしまいました。警察署などで、**家族と一緒に**のときに伝えて欲しかったそうです。

事件後、御手洗さんの父親は、遺族としての活動を始めました。でも、それらの集会に行っても、語られるのは、**親からの視点**でした。子ども目線での話はありませんでした。

## 最近考えること、感じること

御手洗さんは、「17年も経っていると言われるのですが、昨日のことのような感覚で、事件そのものを受け入れて立ち直っているか」というと、そうとは言えません」と、言われました。御手洗さんの妹は、頭がよくて、御手洗さんの書いた作文の漢字を添削してくれていたそうです。母親もいなかったので二人で過ごす時間も長く、仲の良いきょうだいでした。

犯罪にあった**きょうだいのケアが見過されてきていた**こと、被害にあった子どもやそのきょうだいの支援について、教えていただいた講演でした。 (支援員 I)

岡山県

岡山県  
産婦人科医会

性暴力・性犯罪被害者のためのワンストップ支援センター

## 性暴力被害者支援センター「おかやま こころ 心」

岡山県警察

あなたや大切な人が性暴力・性犯罪被害にあった時…

VSCO

ひとりで悩まないで  
～ためらわず、すぐお電話を～



### VSCOと連携して次の支援を行います

- 必要に応じて、支援員が病院や警察・検察・裁判所などへ付き添います。
- 産婦人科・精神科の紹介や検査費等を助成します。
- 犯罪被害に精通している弁護士を紹介します。

### ◆ もし被害にあった時は…

72時間以内に産婦人科に行きましょう。妊娠や性感染症の可能性からあなたの身体と心を守るため、72時間以内の適切な対処が必要です。

被害者サポートセンターおかやま（VSCO）の**性暴力被害者のための医療費等支援金**の制度でお手伝いできることもあります。

岡山県警察の**公費負担制度**など無料で受診できる方法もあります。

### ◆ あなたは悪くありません。ためらわずにお電話を！

どんな相談でもかまいません。お名前は伏せてもかまいません。ひとりで悩まないで、ためらわずお電話ください。相談料は無料です。

ひとりで悩み泣き寝入りすることのないよう、私たちは、受けた被害から立ち直りふたたび平穏な生活が取り戻せるよう支援します。

### ◆ 性暴力・性犯罪被害を受けると…

悲しみ、不安、恐怖などで、混乱した状態になります。何も考えられなくなったり、何も感じなくなったり、ひとりぼっちと感ずることや、不眠や過呼吸になることもあります。

**被害を受けた後は、多くの人がこうした反応を経験します。誰にでも起こりうる、当然の反応です。**

### ◆ 家族や友人の方へ

身近で大切な人が性犯罪・性暴力被害を受けたことを知ったとき、あなた自身も動揺しショックを受けるかも知れません。そんな時は、身近な大切な人の気持ちを受けとめてあげてください。そして、「おかやま心」にご連絡ください。

こころ  
おかやま心 専用電話

**086-206-7511**

月～土 9:00～17:00（祝日・年末年始は休み）  
上記以外の夜間・休日は国のコールセンターに転送されます

全国共通番号

はやくワンストップ  
**#8891**

「おかやま心」の相談時間内は、  
「おかやま心」に繋がります



## 大学生とともに 性暴力のない岡山県を目指して

### 美作大学でフォーラム

12月11日、津山市の美作大学では、「岡山県北犯罪被害者支援フォーラム 性暴力への理解が広がることを目指して ～私たちが被害者にも加害者にも傍観者にもならないために～」が、開催されました。VSCOの片山文業務執行理事が、オンラインで講演、また、グループワークを行いました。



美作大学ゆるキャラ  
「ミマッパちゃん」



美作大学の岡山県北犯罪被害者支援フォーラム

### ◆ 参加者からの意見

相談のハードルが高く、**自責感**など、自分が思う以上に辛い状況だとわかった。

被害者が**なぜ抵抗できないのか**、なぜ相談できず、**社会的に孤立する**のかについて理解が深まった。

性暴力の範囲が広く、自分に**身近なもの**と実感できた。

世代間で**性のとらえ方が違う**から、価値観の違いを無くすことが被害者にも加害者にも傍観者にもならないことにつながると考えた。

### 美作大学で、 カードとステッカーを作成中

岡山県下の全ての中学校・高等学校の女子トイレ個室に貼る**トイレステッカー**と県内全中学生・高校生に配布する**啓発カード**を、美作大学の学生達と作成中です。

性暴力が被害者の心を傷つけるだけでなく、**たくさんものを奪ってしまう**ということが印象に残った。

**真の同意の意味**を知り、相互のやり取りのプロセスが大切だということが印象に残った。

### 犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会『あした彩』

岡山県内の14大学・専門学校で構成される犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会『あした彩』の学生達が作詞・作曲したオリジナル曲「あした」が、11月28日、県警と共催のフォーラムで県警の音楽隊と岡山大学4年の宮本あゆはさんによって披露されました。また、『あした彩』の森田陽果莉さんが作曲したピアノ曲「Gebert」が、森田さんによって演奏されました。この「Gebert」の一部は、「おかやま心」のYouTubeのCMのバックミュージックとして使われています。



岡山県警音楽隊の演奏と宮本あゆはさんの歌

YouTubeで「おかやま心」の15秒CMを11月から流しています。



### リーフレットの作成

「おかやま心」の大学・専門学校の**新入生向けリーフレット**を『あした彩』の大学生が、作成中です。



森田陽果莉さんのピアノ演奏

# 改正少年法の特定少年（18・19歳）とは

## 1 特定少年とは？

改正前少年法2条1項は、「少年とは、20歳に満たない者をいい、成人とは、満20歳以上の者をいう」と規定しています。しかし、**民法改正**により2022（令和4）年4月1日から**18歳、19歳の者も成人**となります。2022（令和4）年4月1日施行の改正少年法では、第62条1項で**18歳、19歳の少年を「特定少年」とし、特別の規定を設けました。**

## 2 原則逆送事件の拡大

「逆送」とは、家庭裁判所が**保護処分ではなく、懲役、罰金などの刑罰を科すべき**と判断した場合に、事件を検察官に送ることです。逆送された事件は、**検察官によって刑事裁判所に起訴**され、刑事裁判で有罪となれば、刑罰が科されます。

「原則逆送事件」とは、家庭裁判所が原則として逆送しなければならない事件です。

### ..... 原則逆送事件 .....

#### ● 改正少年法

##### 改正前少年法

##### 殺人罪・傷害致死事件等

16歳以上の少年のとき犯した**故意の犯罪行為**により被害者を**死亡させた罪**の事件

(改正前少年法20条2項)



##### 現住建造物等放火罪，強姦性交等罪，強盗罪，組織的詐欺罪等

18歳以上の少年のとき犯した死刑、無期又は短期（法定刑の下限）1年以上の懲役・禁固に当たる罪の事件

(改正少年法62条2項2号)が追加

## 3 実名報道の解禁（公開）

改正前少年法でも改正少年法でも、特定少年のときに犯した罪については、氏名、年齢、職業、住居、容貌などによって**犯人が誰であるかが分かるような記事・写真等の報道（推知報道）**は原則として禁止されています（少年法61条）。しかし、事件が**逆送されて起訴された場合**は、略式手続（非公開の書面審理で罰金等を科す手続）の場合を除き、推知報道の禁止が解除され**氏名等が公開**されます（改正少年法68条）。

## 4 保護処分についての特例

特定少年（18・19歳）について保護処分（**刑罰ではなく**少年の更生を目的として家庭裁判所が決定する特別の処分）を科す場合には、犯罪の軽重を考慮して相当な限度を超えない範囲内において次の保護処分のいずれかの決定がなされることになりました（少年法64条）。

改正後 <b>17歳以下</b> の少年の保護処分 (改正前少年(20歳未満)の保護処分)	特定少年 ( <b>18・19歳</b> ) の保護処分
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 少年院送致</li> <li>② <b>児童自立支援施設</b>等送致</li> <li>③ 保護観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>少年院送致</b>（3年以内）</li> <li>② <b>2年間の保護観察</b> (遵守事項違反の場合は少年院に収容することが可能)</li> <li>③ <b>6か月の保護観察</b></li> </ul>

決められたことを  
守らなかったら少年院

## VSCOの支援

### SNSでの性被害

小学生のAちゃんは、**オンラインゲーム**で遊んでいるうちに、Bという男の人と一緒にゲームをするようになりました。**ゲームのチャットでやり取り**するうちに、「ゲームの攻略法をこっそり教えてあげるから、LINEのIDを教えて」と、言われ、Aちゃんは、Bと**LINEでやり取り**をするようになりました。そのうち、Bは、「写真を送って」と、LINEしてきました。Aちゃんが写真を送ると、Bは、Aちゃんのことを「可愛いね」と、ほめてくれました。「下着の見える写真を送って」と、いうLINEを受け取ったAちゃんは、下着の見える写真をBに送ってしまいました。

お母さんは、Aちゃんのスマホを覗いていて、Aちゃんの下着が映った写真を見つけました。そして、それをBに送ったことを知り、驚き、Aちゃんを叱りました。そして、VSCOに電話してきました。VSCOの支援員は、「お母さん、Aちゃんを叱らないでください。証拠は消さずに残しておいてください」と、伝え、面接相談を行いました。支援員は、Aちゃんとお母さんをそれぞれ**別の部屋で面接**し、Aちゃんは、写真を送信したときの**不安な気持ち**について話しました。支援員は、「お母さんは、心配したから叱ったのだけど、Aちゃんは悪くない。悪いのはBだから」と、Aちゃんに伝えました。お母さんには、「再び被害にあうことのないように、警察に相談した方がよい」と、すすめました。また、お母さんのお話をじっくり聴き、**今後のAちゃんへの対応を一緒に考え**ました。

お母さんは、「おおごとにはしたくない」とのことだったので、VSCOの協力弁護士が、Bについて調べたところ中学生で、Bとその親を呼んで、**画像消去をその場で行い**、「画像を拡散しないこと」「この件を口外しないこと」「今後、Aちゃんと連絡を取らないこと」を約束させました。

画像を消すことができましたが、Aちゃんとその家族については、心のケアの支援を続けることとなりました。

### 職場での傷害事件

40代男性のCさんは、従業員20人ほどの会社で働いていました。仕事に、同僚の男性Dと口論となり、スコップで頭部を複数回殴打され、重傷を負いました。Cさんは、1ヶ月間入院し、退院後VSCOで面接を行いました。「話すことが苦手なので、付いてきて欲しい」とのことだったので、支援員は、**検察庁の事情聴取、外科の診療にも毎回付き添い**ました。病院でも支援員と一緒に説明を受け、完治するまで医療にかかることができました。

会社に戻りたいCさんは、「Dは仕事ができるので、会社は、Dの方を続けて雇いたいのではないかと、不安に思っていました。VSCOは、協力弁護士を紹介しました。Dの裁判員裁判でCさんは、意見陳述を行うこととなりました。Cさん・弁護士とで、意見陳述書を作りましたが、Cさんには事件の後遺症があり、長い文章を読むことは困難でした。そこで、支援員とCさんとで**意見陳述書**の文章を短く区切り、何度も何度もCさんが読みやすいように作り直しました。心情が裁判員に伝わるように、支援員と共に何度も練習を行いました。Cさんは、裁判で**被害者参加制度**を利用して被害者参加をし、弁護士と検察官の隣に座りました。意見陳述を行った後、Cさんは、晴れ晴れとした顔をしていました。

裁判でDには実刑判決が下り、Cさんは、職場に復帰することができました。

2事例ともプライバシー保護を行った複数の事例を組み合わせた架空事例です。





## 被害者支援活動の実施状況

2021年1月～12月分

### 1 相談件数

■電話（継続相談を含む）

516（月平均 43.0）

■面接（継続相談を含む）

35（月平均 2.9）

■面接相談の端緒

電話相談後	35	他機関の要請	0
その他	0	計	35

### 2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

男	104	女	440	不明	7	計	551
---	-----	---	-----	----	---	---	-----

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

被害内容	件数	被害内容	件数
殺人・傷害致死	16	交通死亡事故	65
強盗（致死傷）	0	交通事故	10
強制性交等	93	財産的被害	14
強制わいせつ	141	DV	12
その他の性暴力	38	ストーカー	11
暴行・傷害	9	虐待（いじめ）	2
その他の身体犯	1	その他	139
危険運転致死傷	0	計	551

### 3 紹介（件数）

岡山弁護士会	2	県消費生活センター	4
L A岡山	0	交通事故相談所	3
法テラス岡山地方事務所	2	「おかやま被害者支援ネットワーク」加盟機関（上記以外）	1
精神科医	0	警察	1
臨床心理士	0	上記以外の機関	13
県女性相談所	0	計	26
県中央児童相談所	0		

### 4 直接的支援関係（回数）

<b>警察関連支援</b>	3	<b>行政窓口等付添</b>	22
警察への付き添い		県女性相談所への連絡・付添い	
被害届・告訴状の提出サポート		県・市児童相談所への連絡・付添い	
被害者連絡制度の利用		関係機関連絡会議への出席と連携	
警告等の申出のサポート		公営住宅等の確保等	
<b>検察庁関連支援</b>	8	引っ越し・住民票開示等	91
検察庁への付き添い		<b>病院付添い</b>	
被害者等通知制度の利用		病院（産婦人科医含む）紹介・付添い	
不起訴記録の開示		エイズ検査への立会	
検察審査会への申立など		精神科医の紹介・付添い	
出所情報の確保など		<b>自宅訪問</b>	3
<b>裁判関連支援</b>	65	<b>生活支援</b>	3
弁護士相談への付添い		<b>宿泊施設提供</b>	0
刑事裁判・審判への付き添い		<b>その他</b>	6
代理傍聴		法テラスへの付添い	
意見陳述のサポート		仲裁センターへの付添い	
保護命令申立など		マスクミ対応	
証人の遮蔽・ビデオリンクなど		その他	
	<b>自助グループ</b>	0	
	自助グループ開催		
<b>合計 201</b>			

### 5 犯給金等申請の補助（申請した件数）

犯給金申請のサポート	0
犯罪被害者遺児等に対する奨学金給付のサポート	0
まごころ奨学金申請のサポート	0

### 6 支援金（支給した件数）

全国ネット被害者緊急支援金の給付	0
VSCO 犯罪被害者支援金の支給	24
VSCO 性犯罪被害者緊急支援金の支給	6

## 性暴力被害者支援センター「おかやま心」の実施状況 2021年1月～12月分

上記 VSCO「被害者支援活動の実施状況」の内数になります。

### 1 相談件数（継続相談を含む）

318（月平均 26.5）

### 2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

男	30	女	283	不明	5	計	318
---	----	---	-----	----	---	---	-----

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

強制性交等	70
監護者性交等	1
強制わいせつ	112
監護者わいせつ	5
その他の性被害	25
DV	3
ストーカー	2
その他	100
計	318

### 3 相談の端緒（件数）

HP	27	友人・家族	0
トイレステッカー	0	その他	50
リーフレット	2	計	102
ラッピングバス	0		
警察教示	1		
関係機関からの紹介	22		



## VSCOからのお願い

### 犯罪被害者支援自動販売機の設置にご協力ください

VSCOでは、関係各位のご協力により、VSCO支援自販機を設置していただいています。

自販機の設置により、設置者から、販売手数料の全部または一部を寄付していただくものです。寄付金は、犯罪被害に遭われた方やそのご家族、ご遺族の支援に充てられます。社会貢献の一環として、この自販機を設置していただける方や団体を募集しています。設置を検討して下さる場合は、VSCOの事務局へご連絡ください。



美作大学学生寮 (新白梅寮)



————— たくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。 —————

#### 【自販機設置場所】

※敬称略、名称は設置場所、順不同

公益財団法人慈圭会 慈圭病院、(株)岡田商運(2台)、手打ちうどん名玄(2台)、西の屋赤坂店、ドコモショップ平井店、ドコモショップ総社店、ドコモショップ津山小田中店、ドコモショップ岡山瀬戸店、(有)西山建設商事、(株)西山組、西の屋菊ヶ峠店、環太平洋大学(2台)、天野産業(株)、(株)セキュリティハウス、みのる産業(株)本社工場(3台)、みのる化成(株)クリーンパックス工場(2台)、みのる化成(株)くろがね工場(2台)、みのる化成(株)牟佐工場、ENEOS(株)水島製油所、エムシー・ファーターコム(株)(5台)、合同会社 LEAP JAPAN、岡山理科大学(6台)、(株)大本組 本社ビル、モリマシナリー(株)、ナカシマプロペラ(株)、JFE西日本ジーエス(株)JFE見学センター、吉備国際大学、小金井自動車学校(栃木県)、神戸西インター自動車学校(兵庫県)、太秦自動車教習所(京都府)、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、(株)倉敷アイビースクエア、三菱自動車工業(株)水島製作所、医療法人社団尚志会 福山城西病院(広島県)、サンコー印刷(株)、社会医療法人盛全会 岡山西大寺病院、みのる化成(株)本社、JR伊部駅、新見公立大学(2台)、(株)サンラヴィアン(2台)、社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院、(株)千田組 本社、アットパーク大供 第2駐車場、玉野総合医療専門学校、友田たばこ店、(有)大成玩具、アップル歯科クリニック、横井コミュニティハウス、グッドライフグループ津高介護センター、津島新野(フジワラ)、美川コミュニティハウス、岡山地方法務局、岡山地方法務局 西古松合同庁舎、美作大学 新白梅寮、(株)カーテン・じゅうたん王国岡山今店、(設置台数73台)

#### 【協力ベンダー会社】

(株)ジャパンビバレッジホールディングス、ヒカリエンタープライズ(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、FVジャパン(株)、(株)キリンビバックス、ネオス(株)、(株)サントリービバレッジサービス、(株)スギノ、(有)日東ベンディング中国、(株)コーシン、(株)野口商店、(株)フジタ商事、(株)伊藤園

### 本で広がる支援の輪～ホンデリング～にご協力ください

不要になった書籍を、所定の申込書とともに、段ボール箱や紙袋にお詰めいただき、段ボール箱等の表面にVSCOのホームページからダウンロードした申込書を貼ってください。(申込書は、VSCO事務局から郵送することも出来ます。)

ただし、ISBNのない本、百科事典、個人出版本、雑誌は取り扱いできません。



#### 募金箱の設置をお願いします

店舗、病院、企業等にVSCOの募金箱を置かせてください。

12月31日現在、岡山県遊技業協同組合の加盟店・病院・美容院・喫茶店等 59か所に設置していただいています。



一般財団法人「厚生会」から毎年多額の寄付金をいただいております。ご支援ありがとうございます。

### 正会員・賛助会員になって、VSCOをサポートしてください

年会費は、次のとおりです。

正会員	個人	1口	10,000円	賛助会員	個人	1口	2,000円
	団体	1口	30,000円		団体	1口	10,000円

ご不明の点は、VSCOの事務局(電話086-223-5564)へお問い合わせください。

# 公益社団法人被害者サポートセンターおかやま (VSCO) 会員名簿

(2021.12.31 現在 50音順 敬称略)

会員の皆様、いつもご支援ご協力ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 正会員 【個人】

逢沢 一郎	衆議院議員
阿部 俊子	衆議院議員
荒木 信之	弁護士
家野 昌子	非常勤講師
石井 正弘	参議院議員
石尾 玲子	
井田千津子	弁護士
出原 陽平	看護師
伊東 京子	
井上 志乃	
井上 雅雄	弁護士
今村恵美子	弁護士
上田紗英子	弁護士
浦上 雅彦	
江見由香里	
大塚 愛	岡山県議会議員
奥田 哲也	弁護士
鬼木のぞみ	岡山市議会議員
小野田紀美	参議院議員
加藤 勝信	衆議院議員
加藤 航平	弁護士
加藤 裕司	自由業
金重恵美子	セントラル・クリニック伊島院長
木口 京子	岡山県議会議員
桐野 忠夫	地方公務員
小山 実	岡山商科大学付属高校 教員
作花 知志	弁護士
澤畑 優太	弁護士
嶋村 稔	
鈴木 一成	会社経営
高井 崇志	
高橋 雄大	岡山市議会議員
高原 俊彦	岡山県議会議員

高山 裕子	弁護士
竹原 幹	瀬戸内市議会議員
田尻 祐二	岡山市議会議員
田村比呂志	弁護士
坪井 一彦	社会福祉ボランティア士
津村 啓介	
寺田 和子	保健師
飛山 美保	弁護士
富岡 美佳	
中島 豊爾	岡山県医療センター 理事長
中原 淑子	岡山市議会議員
中村 純子	
鍋島 千秋	
難波 光	
新谷 恭二	株式会社リースケン岡山 代表取締役
西野 淑子	弁護士
萩原 誠司	美作市長
橋本 岳	衆議院議員
羽場頼三郎	岡山市議会議員
林 潤	岡山市議会議員
播間 友恵	
日笠 久栄	
東 隆司	弁護士
東原 透	岡山市議会議員
平井 芳和	飲食店
平松 敏男	弁護士
平松 真紀	弁護士
平松 真澄	
福田 司	岡山県議会議員
藤原 一徳	団体職員
藤原 恭子	
堀井 茂男	慈圭病院 名誉院長
前原 幸夫	税理士

松村 正基	会社員
松本 好厚	岡山市議会議員
真邊 和美	女性問題アドバイザー
三木 亮治	岡山市議会議員
宮本美穂子	弁護士
三好 英宏	弁護士
室賀 康史	室賀ネジ機工株式会社 代表取締役
森本 治雄	税理士
森脇 正	弁護士
森脇 久紀	
安田 寛	弁護士
山崎 悦子	
山下 貴司	衆議院議員
山本 諒平	弁護士
祐源 伸康	平松法律事務所事務局長
吉田由紀子	
若林 晶子	
若林 久義	会社役員

以上の他に匿名希望 15 名、合計 99 名です。

## 正会員 【団体】

株式会社 山陽設計
蜂谷工業 株式会社

以上の 2 団体です。



## 賛助会員 【個人】

赤木 泰之	小埜 雄一	新谷 芳子	中山美恵子	正木 さわ	山本 賢昌
池本 茂	片山 和良	神土 純子	難波 賀恵	松本 一三	吉田 誠
出井 敏雅	勝浦 義政	杉山 奉文	二階堂 保	三浦 一男	渡辺 典子
伊藤 述史	河端 武史	鈴木 正二	仁木 壯	水川美代子	
猪木 健二	川畑 広美	角南 真澄	西村 卓代	水舟 雪枝	
今井 洋子	木口 兵衛	妹尾さくら子	花田 雅行	光畑 俊行	
岩瀬 玲子	木村 健治	高橋 茂	日笠 栄	三村美智子	
岩津 安罔	木村 佳子	高橋 吉保	東 政代	三宅 邦子	
上山 俊明	日下 知子	瀧本 孝	疋田 克繁	三宅 修司	
大熊 昌子	熊代 哲士	伊達 勝則	平井 広隆	向井 一紀	
太田垣弘枝	黒瀬 達夫	土器 悦子	平田 祥之	森本 政美	
大森 一枝	黒瀬 治樹	中川 佳子	平部 一美	八代 武利	
岡崎 尚子	小林 淳	中村 叡子	藤井 恵子	安信 政男	
岡田 明子	酒井 健裕	長崎 司	藤澤 浩子	矢野 有哉	
岡田 孝文	崎本 敏子	永瀬 隆一	藤原 忠文	山崎 真男	
奥津 光生	笹井 初音	中塚 多聞	藤原悠紀子	山崎 資司	
小野 恭平	芝田 正剛	中西 邦夫	本城 宏一	山田 成一	
小野富貴子	嶋村 洋子	中山 正汎	前田 厚美	山水祐喜子	

以上の他に匿名希望 81 名、合計 174 名です。

## 賛助会員 【団体】

株式会社 アイスライン	株式会社 セキュリティハウス
アサヒ通信システム 株式会社	総社花萬 株式会社
株式会社 大手饅頭伊部屋	株式会社 中国銀行
株式会社 大原組	中国建設工業 株式会社
岡山医療生活協同組合	株式会社 トマト銀行
岡山県貨物運送 株式会社	株式会社 トンボ
公益社団法人 岡山県看護協会	ナカシマプロペラ 株式会社
岡山県民共済生活協同組合	中谷興運 株式会社
岡山県美容生活衛生同業組合	有限会社 中村保険企画
岡山市連合婦人会	ネットヨタ山陽 株式会社
おかやま信用金庫	株式会社 パーズコミュニケーション
岡山タイヤ販売 株式会社	備北信用金庫
岡山トヨペット 株式会社	福山電業 株式会社
岡山北西ロータリークラブ	更生保護法人 備作恵済会 古松園
株式会社 小倉組	三井住友海上火災保険 株式会社 岡山支店
弁護士法人 菊池綜合法律事務所	株式会社 みなみ
木下サーカス 株式会社	みのるホテル事業 株式会社 (後楽ホテル)
一般財団法人 倉敷成人病センター	株式会社 山田養蜂場
クラブン 株式会社	山本建材 株式会社
医療法人 ミネルヴァクリニックソフィア	一般財団法人 共愛会 芳野病院
株式会社 廣榮堂	
サンコー印刷 株式会社	
山陽施設工業 株式会社	
株式会社 山陽新聞社	
株式会社 サンラヴィアン	
公益財団法人 慈圭会 慈圭病院	
医療法人 清水医院	
医療法人 清水レディス・クリニック	
株式会社 ジョセイ新聞社	
株式会社 ストライプインターナショナル	

以上の他に匿名希望 3 団体、合計 53 団体です。

# 被害者支援員養成講座を受講してみませんか？

(被害者サポートセンターおかやま《VSCO》<sup>ヴィスコ</sup>主催)

被害者サポートセンターおかやま<sup>ヴィスコ</sup>は、犯罪による被害者や、その家族・遺族の方に対して、電話・面接相談や警察・検察庁・裁判所や医療機関・行政へ付き添うなどの支援を行っています。2022年度の支援員養成講座を開催し、支援員(第16期生)を募集します。

研修委員会の判断により、受講をお断りすることがあります。

「人間として被害者をほっておけないと考える感性が豊かな方」の応募を期待します。

## 【応募資格】

- ★ 被害者支援の活動に参加できる方
- ★ 被害者支援について学びたい方
- ★ 職務上、被害者支援について学ぶ必要のある方
- ★ 被害者支援ボランティアとして活動したい大学生

【会場】 きらめきプラザ  
(岡山市北区南方)

## 基礎講座

定員 一般30名・学生60名 講座回数 6回  
資料代 10,000円(初回一括・ただし大学生は無料)  
申込締め切り 令和4年4月28日(木) 申込用紙は下記サイトから

時間 10:00～12:00・13:00～15:00

- |    |          |                                         |
|----|----------|-----------------------------------------|
| 1回 | 5月15日(日) | 開講式、被害者支援の歴史-VSCOの活動内容について              |
| 2回 | 5.6月中の平日 | 刑事裁判の傍聴と解説                              |
| 3回 | 5月15日(日) | 女性の被害(DV等)の対応について、性犯罪被害者のサポート           |
| 4回 | 5月29日(日) | 経済的被害からの回復、消費者被害と消費生活センターの働き            |
| 5回 | 5月29日(日) | 児童虐待と児童相談所の働き、ストーカー被害者のサポート             |
| 6回 | 6月12日(日) | 交通事故被害者のサポート<br>最愛の家族の命を奪われた遺族の立場から、閉講式 |

基礎講座修了者(原則皆勤の方)の中から希望で(審査あり)

## 中級講座

本人の希望と面接、VSCOの審査

被害者支援補助員として登録

～詳しくは、VSCOホームページをご覧ください～

VSCOおかやま

検索



(基礎講座のひとつです)

相談・支援は無料 秘密厳守

犯罪被害相談電話

にーさん ころに  
086-223-5562

性暴力被害者支援センター「おかやま心(ころ)」

086-206-7511

月～土 9時～17時

(ただし、祝日及び年末年始を除きます)

岡山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体  
全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援団体

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま

ヴィスコ  
(VSCO)

事務局 〒700-0824 岡山市北区内山下2丁目2番15号  
電話 (086)-223-5564  
F A X (086)-201-5564  
E-mail vsco@vsco.info  
H P http://vsco.info



この機関誌は、「赤い羽根共同募金」の助成を受けて作成しています。